

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	厚木（7）施設最適化総合設計に係る技術協力業務
業務概要	<p>技術協力業務対象事業</p> <p>【海上自衛隊厚木航空基地】</p> <p>建替施設（建替え後の施設）</p> <p>格納庫（S/RC-5、延べ面積約14,410㎡）ほか25棟、計 約70,900㎡</p> <p>改修建物</p> <p>格納庫（S-1、延べ面積約1,1450㎡）ほか52棟、計 約81,490㎡</p> <p>解体建物</p> <p>庁舎（RC-1、延べ面積約7,030㎡）ほか45棟、計 51,780㎡</p> <p>基地内幹線ユーティリティ 一式</p> <p>業務内容</p> <p>設計確認、施工計画作成、技術情報の提出、全体工事費の算出、関係機関との協議資料作成支援、技術提案、設計調整協議</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	<p>支出負担行為担当官 南関東防衛局長 末富理栄</p> <p>神奈川県横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎</p>
契約年月日	令和7年7月29日
契約業者名	厚木（7）施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事 安藤ハザマ・日本国土開発・京王建設横浜・奈良建設共同企業体
契約業者の住所	東京都港区東新橋一丁目9番1号
契約金額	¥91,999,600円（税込み）
予定価格	¥91,999,600円（税込み）
随意契約によることとした理由	<p>本事案は、海上自衛隊厚木航空基地において、複数の施設を集中的に実施していく大型事業であるとともに、その実施に当たっては、自衛隊の運用に支障をきたさない施工計画・仮設計画等が必要となるなど、発注者が最適な仕様を設定できない工事である。このような工事を着実に実施していくためには、仕様の前提となる条件を確定できない早期の段階から、仮設計画や施工を念頭に置いた技術的な知見・ノウハウを設計に反映することが必要である。このため、設計段階から施工者が設計に関与し、施工者の技術を設計に取り入れる技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）を採用し、技術提案を求めた。</p> <p>選定に当たっては、「技術協力業務の実施に関する提案」、「大規模な施設の建替、改修工事又は屋外ユーティリティの切り廻しを実施するにあたり、着実に工事を進捗させるための工法及び施工計画における注意点や課題及びその対処方法についての施工計画の提案」、「事案特性（事業内容や条件、部隊任務、地域特性など）を踏まえ、施工品質を確保した上で仮設計画や円滑な資機材の調達・運搬搬出入、建築物やユーティリティなどの工事目的物を含め事業の実施にあたり如何に効果的にコスト抑制するのか、その考え方や課題及びその方法についての的確性を踏まえた最も適切な提案」及び「基地内及び周辺道路における工事関係車両の安全運行を確保するための実効性及び実績を考慮した最も適切な対策の提案」について技術提案を審査した結果、事業目的の達成のために総合的に最も評価の高い</p>

	<p>技術提案を行った「厚木（7）施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事 安藤ハザマ・日本国土開発・京王建設横浜・奈良建設共同企業体」を優先交渉権者として選定したものである。</p> <p>本業務は、工事に先立って技術提案を反映した設計を実施するための技術協力業務であり、技術提案者である「厚木（7）施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事安藤ハザマ・日本国土開発・京王建設横浜・奈良建設共同企業体」が、本業務を履行することが可能な唯一の者である。</p> <p>よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定に基づき随意契約を行うものである。</p>
工 事 場 所	神奈川県大和市、綾瀬市
工 事 種 別	建築関係建設コンサルタント業務
工 期（自）	令和 7年7月30日
工 期（至）	令和12年3月31日
備 考	

